

平成
29年度

友の会の会員様へ

わたしたちの快適な暮らしを1年間支えてくれてありがとう



友の会に1,401件 5,058,000円の支援が寄せられました。
平成29年度の動物を中心とした動物園事業に全額を使用させていただきました。
動物たちへの優しい暮らしと環境の維持に役立っています。



来園者600万人達成記念式典

■光熱水費：約2,448万円

電気代として1,525万円使用しました。
動物の健康状態を維持するために空調や床暖房、ヒーターや流水のためのポンプ類等で使用されています。

また水道代として923万円使用しました。
ゾウ、トラのプールやバードケージやサル山の池等の維持に、その他の多くは、獣舎清掃などに使用しています。

経費については無駄をなくし、できるだけ節約を心がけ、コスト削減のために努力・工夫を行っておりますが、動物の命をつなぐものとしてエサ代同様、光熱水費は欠かすことのできない経費です。みなさまのご支援を今後ともよろしくお願いいたします。

■獣舎等の環境維持・改善：約115万円

動物の獣舎や動物パドック周りの修繕・改善等に使用しました。

主な改善内容として

- ・チンパンジー舎パッケージエアコン修理 約30万円
- ・ゾウ舎ペンダントスイッチ交換 約19万円
- ・保育器 V2100G修理 約12万円
- ・プレーリードッグ舎空調設備工事 約10万円 他

■平成29年度に誕生した新しい生命たち

みなさんの温かいご支援のおかげで動物たちはのびのびと生活し、ミーアキャットやレッサーパンダ、マンドリル等に赤ちゃんが生まれ、みんな元気にスクスク育っています。

■会員への情報郵送料、会員証等：約85万円

会員の方に年2回、園情報をお知らせしています。
ファン感謝祭のお知らせと収支報告書を郵送する費用です。

経費を節約するために同一世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきます。

その他、会員証の印刷代などを支出しました。

平成
29年度

到津の森公園基金&動物サポーター支援者様へ

わたしたちのご飯を1年間支援してくれてありがとう



到津の森公園基金に19件465,000円（うち法人3件200,000円）の支援が寄せられました。（平成11年度からの累計98,256,447円）全額、平成30年度以降の動物導入等のために積み立てています。

動物サポーターに1,252件21,816,315円の支援が寄せられました。

うち法人・団体サポーター133件15,583,308円。

平成29年度の動物のエサ代等として全額使用させていただきました。

これからも、ご支援をよろしくお願いいたします。

動物のエサ代 約2,236万円

レッサーパンダの赤ちゃんの誕生等新しい仲間が増えました。約100種500頭羽の1年間のエサ代です。主なものは、



- ゾウ2頭が1日に必要なエサの分量は、およそ乾草40kg、青草8束、笹15kg、ペレット（固形飼料）16kg、枝葉10kgで年間約375万円。
- チンパンジー5頭が1日に必要なエサの分量は、およそキャベツ6kg、サツマイモ1kg、ニンジン6kg、バナナ4.5kg、リンゴ1kg、オレンジ4.5kg、ペレット0.5kgで年間約230万円。
- ニホンザル50頭が1日に必要なエサの分量は、およそキャベツ1kg、サツマイモ3kg、ニンジン2.5kg、バナナ2.5kg、麦・大豆5kg、オレンジ2kg、ペレット3kg、枝葉10kgで年間約200万円。
- ライオン2頭が1日に必要なエサの分量は、およそ丸鶏3kg、馬肉4kgで年間約50万円。
- キリン3頭が1日に必要なエサの分量は、およそ主に木の枝2kg、カッターサン（干し草を切ったもの）20kg、圧ペントウモロコシ（フレーク状のトウモロコシ）2kg、ペレット5kgで年間約150万円。

その他、レッサーパンダやゾウのために竹を定期的に提供いただいたり、米などの穀類や新鮮な野菜・果物・お肉等を提供いただきました。米はサルたちの冬の暖をとるためのおやつとしておにぎりにして提供しています。

また、飼育スタッフとボランティアによるエサとり（新鮮な野草や雑草を刈りエサとして使用）などで、全体のエサ代を節約することができました。

このような動物サポーターのみなさんのご支援により、動物たちに経営に左右されない安定したエサの提供ができています。



■動物の薬 約130万円

当園の動物たちの健康を守るための薬等を購入し、園内の動物の健康管理や治療、検査などで使用しました。

■会員への情報郵送料、認定証、記念品等 約66万円

会員の方に年2回、園情報を郵送しています。ファン感謝祭のお知らせ、収支報告書を郵送する費用です。経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきます。

また、法人サポーターを対象に認定証を作成しました。